

平成 30 年度 浦佐地域づくり協議会の主な実施事業

別 冊

H31.3.27 協議会総会へ
議案資料として提出済み
(一部修正加筆)

浦佐地域づくり協議会の活動は、浦佐地区センター(雪国おくにじまん会館)に事務室を設け、会館の管理業務のほか軽微な公共工事、地域コミュニティの醸成・活性化に向けた事業などを行っています。地区センターとしての役割は、①施設全体の日常的な維持管理 ②地域づくり協議会の事務及び地域活動の支援 ③各行政区の支援と連携、また協働のまちづくり事務 ④市報等行政区あて文書の配送 ⑤協議会が認める公共的団体等の活動支援と事務局事務などがあります。

(浦佐地域づくり協議会は 2008 年 4 月設立)



1 活動拠点事業（市からの委託事業で予算規模 227 万円）

浦佐地域づくり協議会の事務局は、雪国おくにじまん会館の 2 階にあって地域の活動拠点となっています。事務長ほか 2 名、計 3 名の事務員が常駐（8:30～17:00）しています。

- ・「雪国おくにじまん会館」（浦佐地区センター）の運営と管理を行っています。
- ・毎月 2 回、南魚沼市から発行される市報・お知らせ文書等について、各行政区へ配送します。
(原則毎月 1・15 日ですが、土日曜など休日の場合には前日となります)
- ・浦佐地区センターの開館時間は、年末年始及び、祝祭日を除く月曜から金曜日の 9 時から 17 時までとなっています。(会館の利用は予約により、9:00～22:00 まで利用可能)
- ・地域での困り事や地域の課題・問題、またコミュニティ活動に関する相談事について窓口を開いています。また地域課題等について、県市への窓口として「要望書」のとりまとめも行います。
- ・カラーコピー機の利用、芝刈機、小型除雪機、テント、折り畳み椅子・テーブル、PA 機器等の備品類の貸出も可能です。

2 地域活性化支援事業（市から浦佐地域づくり協議会が受ける交付金事業で予算規模 320 万円）

地域活性化支援事業は市から交付金を受け、地域コミュニティの醸成また地域の活性化に向けた活動を行なう事業で、「提案事業」と「基礎事業」からなっています。地域の特色を活かした活動、また地域の大きな課題となっている「人口減少問題」・「活性化」に向けた取り組みを行っています。

○ 提案事業（事業費見込 180 万円規模）

各種共催事業や公民館浦佐分館・各種団体・環境活動への事業費補助、小規模な観光交流・体験住宅施設など新事業に向けた取り組み、ほか幾つかのプロジェクト事業を進めてきました。

○ 基礎事業（事業費見込 140 万円規模）

基礎事業は、地域で管理する道路水路の外、水路や市道などの簡便な補修工事など、地域の視点・目線から実施できる事業です。

協議会ではここ数年、街路灯・防犯灯などの LED 化を計画的に進めるほか、道路施設などの小さな改修工事や災害対応など、市役所と連携するなかで進めています。

3 各種プロジェクト事業（概要紹介）

○ びしゃもん通り賑わい事業

30 年度も他団体からの補助金等受けることなく、予算的には協議会単独にて 5 月から 11 月まで 4 回開催（基本第 4 日曜日）を計画し、浦佐「毘沙門通り」で賑わい事業「小さな祭り」として開催しました。

お祭りは毎回テーマを決め、通りを“ホコテン化”し、軽トラ市も同時開催するなか、地域の手づくりによる連続イベントとして実施しました。



と芸能ステージ

5 月 27 日	樺&山菜まつり	びしゃもん市	ストリート芸能	軽トラ市	450 人
6 月 24 日	さなぶり祭り	びしゃもん市	ストリート芸能	軽トラ市	600 人
9 月 30 日	新米祭り	びしゃもん市	ストリート芸能	軽トラ市	台風による中止
10 月は“お休み”とさせていただきます					

11 月	3 日	菊祭り	びしゃもん市	ストリート芸能	軽トラ市	750 人
------	-----	-----	--------	---------	------	-------

3 回の開催で 1,800 人(前年比 8%減)の人出となりましたが、各回の人出は確実に増加傾向にあります。必要とする事業費では、PA 機器や机・椅子など機器備品の取得もあって、最小限の経費で最大の効果を発揮できていると思います。（事業費支出 176 千円規模）

○ 夕涼み 生ビール&鮎まつり

7 月 29 日（日曜） 第 9 回 生ビール&鮎まつり！



浦佐の夏の風物詩となった『夕涼み 生ビール&鮎まつり』は今回 9 回目の開催となって、知名度も高まり“浦佐の夏の風物詩”として、地域の一大イベントへと成長していると感じています。良質な生ビールと、じっくり炭火で焼かれた美味しい鮎、そして連続して演じられるジャンルに富んだ地元芸能と、プロ歌手によるステージは大変好評でした。

今回のお祭りは“空梅雨+連日の高温”、台風の通過など・・・、あまりの暑さで人出が心配されたところですが、陽射しが傾くころには買い物を楽しむ人、テントにじっくり腰を据える人など、定番となったお祭りを楽しむ人・・・で埋まりました。また、年々イベント内容の充実がされるお祭りですが、ステージの配置や雨対策の充実など今後も改善を図る必要があると思われました。

人出 3,750 人 （事業費 1,922 千円）

地域情報は協議会の H P からも見るができます

浦佐地域づくり協議会 ホームページ

<http://urakyou14.com>

浦佐地域づくり協議会ブログ（地域と協議会周辺の話発信） <https://yucreate.exblog.jp/>

E メールアドレス gi-to-ai@bloom.ocn.ne.jp

○ 八色の森健康ウォーキング（協働事業）

行政と地域が協働で行うウォーキングイベントで、奥只見レクリエーション都市公園「八色の森公園」を発着点とし、水無川・魚野川などの舗装された堤防道路を主体とするコースで、景観を楽しみながら歩きます。

里山や水辺の景観などを楽しみ、参加者との語らいも楽しみの一つ、地域を知ることや、健康をテーマにしたウォーキングイベントとなっています。

9月23日（毎年秋分の日に実施）には、前日からの雨も上がり214名の参加を得て、初秋の水無川・魚野川の堤防道路やコシヒカリの水田景観を楽しむことが出来ました。

全体 270 名規模 （事業費 206 千円）



○ 浦佐地域合同「賽の神祭り」



浦佐中学校跡地で行う賽の神祭り

1月14日 浦佐駅西側、旧浦佐中学校跡地の広場をお借りし、今年10回目となる地域合同「賽の神祭り」を実施しました。今年も暖冬の年明けで積雪は50センチ程度でしたが、薄曇りのなか一年の無病息災や家内安全を祈ることが出来ました。

会場には例年どおりテント3基を設営し、温かな甘酒やトン汁で参加者を迎えました。

午前9時から始まった会場設営も順調に進み、白山神社宮司による神事がしめやかに執り行われ、午前11時「賽の神」に協議会長ら5人により“点火”されました。

人出 300 人 （事業費 100 千円）

○ 「フットパスコースの整備」の取り組み

「人口減少対策」と、「小さな観光」による地域活性化の取り組みとして、今年度は「南魚沼市」と「県の復興基金」から補助を受けるなか、H31年秋のコース開設に向け専任者を入れるなかで事業を進めてきました。

「旧三国街道コース」を基本に他4コースを選定するなかで、開設に向けた準備を行いました。また、昨年に続き数回の「モニターツアー」を実施するなかで、コースの魅力や安全性などについて多方面からの意見聴取を行いました。

「日本フットパス協会」とのつながりでは、宮城県での「全国の集い」に参加するなかで関係を深めました。

（詳細は浦佐地域づくり協議会ホームページ・ブログ参照）



フットパスのモニターツアーを実施



（事業費 181 千円）

○ その他事業の取り組み

毎年実施される地域のイベント事業にも協議会は積極的に参加しています。

- ・第 9 回南魚沼グルメマラソン 6 月 10 日(日曜)
参加者 5,067 人 スタッフ 800 人規模
- ・第 32 回山岳耐久マラソン・健康歩こう大会 9 月 2 日
参加者約 1,672 人 スタッフ 250 人規模
- ・南魚沼グルメライド(9/29 開催)、は「小さな祭り」の開催
予定と重なることから参加・協力を見送ることとしました。



4 多面的機能支払事業

浦佐地域の「農振地域」と周辺地域を対象にした国と南魚沼市(農林課)の交付金事業で、「農業環境を守り育てる」ための様々な活動を行っています。

主体となる組織は「浦佐地域広域協定(会長井口章一郎)」で、鰾島地区をはじめ 5 組織から成っていて、事務局は協議会事務局となっています。

平成 30 年度の全体事業費は 1,500 万円規模となって、農地と農用施設、景観を維持するための草刈作業や道水路の保守・農道の補修作業、また“田んぼ教室”、景観事業等々、地域の農業者が主体となった活動を行っています。



浦佐地域広域協定 会長 井口章一郎 199.6ha

八色の森浦構	76.5 ha	八色の森浦構 代表 坂西浩一郎
川原町環境サポータ	14.3 ha	川原町環境サポータ 代表 井口義夫
広域協定浦佐八色	23.4 ha	浦佐八色 代表 山田勝美
広域協定鰾島	48.0 ha	鰾島 代表 山田義夫
広域協定五箇	37.4 ha	五箇 代表 井口章一郎



5 その他事業

○ 花いっぱい運動

浦佐地域づくり協議会「環境部会」の皆さんにより、大和・魚沼地域の玄関口である浦佐駅東側地域の県道及び市道植栽樹の花壇作りに取組み、植栽区域を年々拡げ天王町区域では花壇作りを大和公民館まで伸ばし、通行する車両や訪れる人たちを大いに癒しています。



○ ウェブ版「料飲店マップ」

魚沼基幹病院の開院、大型店の出店、またメディカルタウン・IT パークなど動きが活発になるなか、中心地域での人の動きも着実に多くなっていると感じます。

浦佐料飲店組合の協力を得ながら作られた「Web 版料飲店マップ」は、浦佐と東地域の料飲店の様々な情報を一括して見ることができ、スマホやタブレットから簡単にお店を検索することができます。



○ 南魚沼市暮らし体験住宅の利用が始まっています

浦佐毘沙門通りに、南魚沼市の「暮らし体験」施設としてオープンしました。地域に“新規定住希望者”を迎え入れる施設として、また地域の交流施設として活用が期待され当面浦佐地域づくり協議会が運営します。(旧森澤邸)



○ 「地域との絆づくり支援事業」の取り組み(補助事業)

“フットパス foot-path による小さな観光事業で地域の活性化”を目指し、今年度から県と市の補助事業として「地域との絆づくり支援事業」を導入することで、事業に弾みをつけたいと考えています。今年度の事業費は 450 万円規模となっており、H31 年度の一部コースのオープンに向けた準備を進めています。(コース整備、コースマップの制作、外)

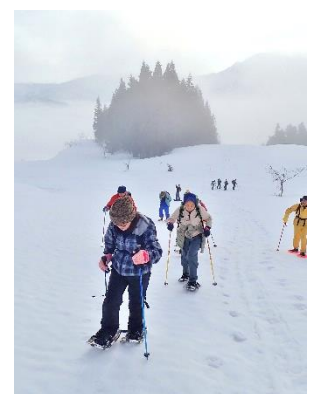


新緑の季節に若い参加者からも歩いていただきました

秋には「観音様コース」へ向かいます



写真で見る地域づくり協議会の活動



料飲店マップは【浦佐地域づくり協議会】で検索！